

4. 製造サプライチェーンにおける供給者の技術基盤の保全について

—技術のコモディティ化の中で生き残るために—

製造サプライチェーンの供給者が生き延びるためには、価格競争の消耗戦を回避し、顧客ニーズに即応できる模倣困難な技術力を特許・ノウハウにより保全することが基礎となる。しかし、技術のコモディティ化が進行する市場では新興国の台頭を背景に、シェア獲得に不可欠な特許ポートフォリオの独占力の低下・喪失によって多数の競合が参入して安値競争が展開され、事業が先細りになっている。他方、国内外に広がる製造サプライチェーンにおける顧客・競合との力関係により、供給者の知財の取得・活用が不当に阻害され、供給者の技術基盤が脅かされることは少なくない。本研究では、知財と競争に関する法制度を技術のコモディティ化による特許の弱体化という経済的視点で考えることにより、製造サプライチェーンの供給者が知財の取得・活用（知財戦略）によって自社の技術基盤を保全するにはどうすればよいかを検討する。

<担当講師>

鮫島 正洋 内田・鮫島法律事務所 弁護士・弁理士

<グループメンバー（塾生）>

相澤 聡 響国際特許事務所 弁理士

伊藤 玲子 ユアサハラ法律特許事務所 弁護士

佐久 敬 特許庁 特許審査第三部 生命工学（蛋白質工学） 審査官（2013年3月まで）
一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 准教授（2013年4月から）

佐々木 奏 森・濱田松本法律事務所 弁護士

高橋 範行 ヒロセ電機株式会社